

協働事業プロセス相互検証シート

1 事業計画段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・新型コロナウイルス感染症(以下、コロナと称す)の影響を受け、感染対策を徹底した拠点事業の実施計画が必要となった。あわせて事業実施することを前提に流行状況を鑑みた方法の検討を重ねた。
- ・コロナ流行や類型変更に伴い、中止していた事業の再開時期や実施方法も検討を重ねた。
- ・区で把握した市民ニーズについて拠点定例会において共有し、事業拡大や曜日変更の検討を行った。
- ・区役所で実施する子育てアンケート結果について、十分検討することができなかった。

【今後改善が必要と思われること】

- ・区で把握した個別ニーズについて情報を共有し、解決に向けて検討していく必要がある。
- ・南区子育てアンケートの結果を拠点、区で共有し次期事業計画を検討する場を持つ必要がある。

2 事業実施段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・コロナ流行による国や市の感染対策方針や事業実施方針により拠点事業の縮小、計画変更が必要となった為、安全を確保しながらの事業実施に向けた協議を重ねた。
- ・拠点事業について区の広報や母子保健事業を通じた市民へ周知や歯科衛生士などの専門職と連携した親と子の健康講座の開催など、効果的に事業展開できるよう互いの強みを生かしながら実施した。

【今後改善が必要と思われること】

- ・より効果的な事業展開ができるよう協議を継続するとともに、区役所や他機関の強みを生かした連携ができるよう検討していく必要がある。

3 事業の振り返り段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・区役所と地域子育て支援拠点が協働で事業実施することで得られる効果や成果について、話し合って共有することができた。

【今後改善が必要と思われること】

- ・子育てに関する市民ニーズを把握し、その解決に向けて継続的に拠点と区で協議を重ねていく必要がある。